

社会福祉法人  
多摩同僚会  
事務局本部

〒183-0042  
東京都府中市武蔵台1-10-1  
☎042-367-8801  
☎042-367-8802  
honbu@tama-dhk.or.jp  
http://www.tama-dhk.or.jp/

児童福祉施設

高齢者福祉施設

神田事業所

あきる野市

府中市

府中市

神田事業所

きずな	☎042-596-0121 ☎042-596-0873 kizuna@tama-dhk.or.jp	●母子生活支援施設 網代ホームきずな
たっち	〒183-0023 東京都府中市宮町1-50 くるる3階 ☎042-354-8700 ☎042-352-2524 touch@tama-dhk.or.jp	●府中市子ども家庭支援センター たっち ●府中市 ファミリー・サポート・センター
しらとり	〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10-2 ☎042-367-8881 ☎042-367-8822 siratori@tama-dhk.or.jp	●子ども家庭支援センター しらとり
泉苑	〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10-4 ☎042-366-0080 ☎042-362-8460 izumi@tama-dhk.or.jp	●特別養護老人ホーム 信愛泉苑 ●高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター ●府中市地域包括支援センター 泉苑 ●泉苑 居宅介護支援センター
緑苑	〒183-0006 東京都府中市緑町1-39-3 ☎042-367-8080 ☎042-367-1012 midori@tama-dhk.or.jp	●養護老人ホーム 信愛寮 ●特別養護老人ホーム 信愛緑苑 ●府中市地域包括支援センター 緑苑
あさひ苑	(府中市指定管理者) 〒183-0003 東京都府中市朝日町3-17-1 ☎042-369-0080 ☎042-365-4683 asahi@tama-dhk.or.jp	●府中市立特別養護老人ホーム あさひ苑 ●府中市立あさひ苑 高齢者在宅サービスセンター ●府中市地域包括支援センター あさひ苑 ●府中市あさひ苑 居宅介護支援事業所 ●あさひ苑 ホームヘルプサービス
うらら多磨	〒183-0002 東京都府中市多磨町2-56-2	●府中市高齢者住宅 うらら多磨
かんだ連雀	〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町2-8-1 ☎03-3252-8815 ☎03-3252-8816 renjaku@tama-dhk.or.jp	●特別養護老人ホーム かんだ連雀 ●高齢者あんしんセンター神田 (地域包括支援センター) ●神田居宅介護支援センター ●かんだ連雀 高齢者在宅サービスセンター ●かんだ連雀 ホームヘルプサービス
岩本町ほほえみプラザ	(高齢者複合施設) (千代田区指定管理者) 〒101-0032 東京都千代田区岩本町2-15-3 ☎03-5825-3407 ☎03-5825-3408 iwamoto@tama-dhk.or.jp	●千代田区立 岩本町高齢者在宅サービスセンター ●千代田区立 ケアハウスいわもと ●千代田区立 グループホームいわもと ●区民施設 多目的ホール、今川記念室

私たちは  
家族を支援します

# かんだ連雀

- 特別養護老人ホーム **かんだ連雀**
- 高齢者あんしんセンター **神田**
- 神田居宅介護支援センター
- かんだ連雀 高齢者在宅サービスセンター
- かんだ連雀 ホームヘルプサービス

## かんだ連雀

都営新宿線「小川町駅」下車

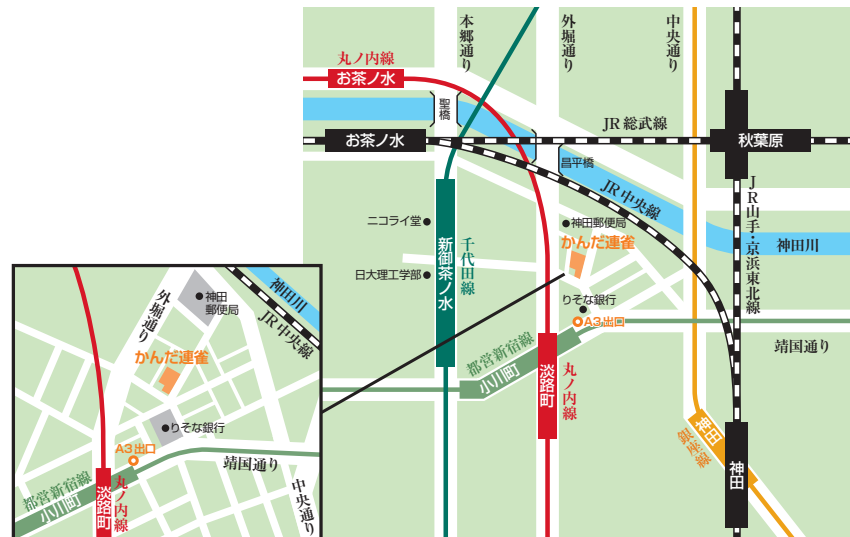
- A3出口より徒歩(約3分)

東京メトロ丸の内線「淡路町駅」下車

- A3出口より徒歩(約3分)

JR「御茶ノ水駅」下車

- 聖橋口より徒歩(約7分)



## 多摩同胞会とかんだ連雀のあゆみ

- 昭和21年度 終戦直後、路頭に迷う母子の救済のため、西多摩郡五日市町（現あきる野市）に綱代母子寮を開設。
- 昭和28年度 綱代母子寮の姉妹寮として、白鳥寮を府中市に開設。
- 昭和35年度 白鳥寮の一棟を保護施設（養老施設）として信愛寮認可。定員27名。
- 昭和38年度 老人福祉法制定により養護老人ホーム信愛寮となる。定員142名。
- 昭和50年度 信愛泉苑開設。
- 平成5年度 府中市より府中市立あさひ苑運営受託。
- 平成6年度 信愛寮、緑町に移転。信愛緑苑開設。
- 平成14年度 神田居宅介護支援センター事業開始。
- 平成16年度 かんだ連雀特別養護老人ホーム（定員55名）事業開始。  
かんだ連雀高齢者在宅サービスセンターデイサービス（定員15名）事業開始。  
ショートステイ（定員5名）事業開始。  
かんだ連雀在宅介護支援センター事業開始（千代田区委託事業）。  
千代田区菅淡路町高齢者住宅生活協力員受託開始。
- 平成18年度 神田地域包括支援センター事業開始（千代田区委託事業）。  
法人創立60周年シンポジウム「神田の福祉」開催。
- 平成21年度 高齢者あんしんセンター神田（地域包括支援センター）名称変更。
- 平成22年度 かんだ連雀ホームヘルプサービス事業開始。



## かんだ連雀では、「寄り添うケア」を こころがけています。

「かんだ連雀」は、「特別養護老人ホームかんだ連雀」を中心とし、千代田区より受託した地域の高齢者総合相談窓口となる「高齢者あんしんセンター」、デイサービス、ショートステイを行う「かんだ連雀高齢者在宅サービスセンター」、ケアマネジャーのいる「神田居宅介護支援センター」、訪問サービスを行う「かんだ連雀ホームヘルプサービス」からなる、在宅から施設まで高齢者と家族を包括的、継続的にサポートする拠点です。

かんだ連雀は、平成16年4月、千代田区有数の老舗がある神田淡路町にオープンしました。住み慣れた地域への愛着と誇りを持つ住民の方々が安心して住み続けられるように、さまざまな関係機関と連携し、質の高いサービスを目指して歩んでいます。施設サービスは、都会にいなながらも家庭的でゆったりとした時間の中で、その方らしい暮らしを実現するために、専門のスタッフが日夜共同してサポート体制を築いています。在宅サー

ビスは、高齢者あんしんセンターを神田地域の総合相談拠点とし、ケアマネジャー、ホームヘルプ事業所を併設しながら、地域に広がる大きな支援のネットワークの中でさまざまなニーズにこたえています。また、1階ホールにおいて、町会や社会福祉協議会のサロン活動、区の介護予防事業等、地域の活性化のための活動が展開されています。

# 最も困っている人々のいのちと生活を支えます

## 相談事業

### 地域包括支援センター

おおむね65歳以上の方や、ご家族のための総合相談窓口です。保健福祉サービスの紹介、福祉サービスの利用申込、介護の方法、福祉機器の利用方法などに関する相談や、日常生活上の困ったことや悩んでいること、どこに相談したらよいか分からないことなど、何でもお気軽にご相談ください。

### 居宅介護支援センター

介護支援専門員(ケアマネジャー)が、介護保険の要介護認定の申請の代行や、ケアプランの作成などを行っています。サービス事業者との連絡や調整なども行います。介護保険のケアプランの作成などについて、お気軽にご相談ください。



## 在宅サービス

### ホームヘルプサービス (介護予防)訪問介護

ホームヘルパーがご自宅を訪問し、身体介護や生活援助を行います。

### デイサービス (介護予防)通所介護

高齢者在宅サービスセンターに通っていただき、趣味・娯楽活動・機能訓練や食事・入浴などの日常生活上の支援を提供します。



## 滞在サービス

### ショートステイ (介護予防)短期入所生活介護

一時的に家庭での介護が受けられないときに、短期間施設に滞在していただき、介護や食事・入浴などの日常生活上の支援を提供します。



## 入所サービス

### 特別養護老人ホーム

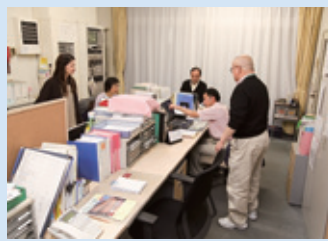
65歳以上の要介護1～5の方で、ご自宅で介護を受けることが困難な方に入所いただき、介護や食事・入浴などの日常生活上必要な支援を提供します。



## 安心できる 設備が整った 建物です。

老舗街に囲まれた、日の光を浴び明るく、セキュリティの整った都市型施設です。

地下2F 食事と事務の業務スペース



事務所・厨房 緑の下の力持ち、365日ががんばっています。

1F 相談窓口と多目的オープン・スペース



外観 都市型特養と在宅の「介護を受けながら生活する住まい」を目標とします。



多目的オープン・スペース 地域の皆様とふれあい、情報交換できる場として開放されております。

2F 活動の場



デイ活動室 デイサービスを利用される皆様の活動の場です。家庭的な雰囲気のリビングには、やわらかな光が差し込みます。



浴室 家庭的な檜の個浴が2か所あるほか、ご利用者の身体機能に応じて座ったままご利用できるチェア浴1台、寝たままご利用できる寝台浴が1台あります。

3F 生活の場



4F 生活の場



(1フロア10名から17名での生活です)

5F 生活の場



6F 生活の場





### かんだ連雀ご利用者の声

## 私らしい暮らしができる場所

かんだ連雀に入所されて5年になるSさん。入所当初は持病や生活の環境により『寝たきり』に近い状況でした。Sさんはその頃の事は覚えていらっしゃらないそうです。「連雀に入所した頃の事は覚えていません。でもここに入所して元気になる事が出来たから、今では皆と楽しく話をしたり、自分で出来る事も増えたりして生活も楽しくなりました」と話されます。

そんなSさんが一番印象に残っているのが、仲良しだったKさんとお別れだそうです。「あの時の事は今でも夢に出ますよ。亡くなられるときを家族の方や職員さんと



一緒に見送る事が出来たの。家族や職員さんが私にも声をかけてくれたの。大好きな人だったから……。立ちあえたこと、感謝しています」と懐かしそうに、そしてちょっぴり涙を溜めるSさんです。

今のSさんの楽しみは、ボランティアさんと作る折り紙や施設で行う外出活動に参加すること。「せっかく元氣になれたのだから、Kさんの分まで頑張るわ。この前の寿司屋も良かったし、秋葉原に行ったのも楽しかった。次は職員さんがどこに連れて行ってくれるのかしら」。生き生きとした表情のSさんは、Sさんらしい生活を楽しまれています。

### かんだ連雀スタッフの声

## エコの発信はかんだ連雀から

かんだ連雀では、積極的にエコ活動に取り組んでいます。利用者の居室やリビングは、採光に気を配った設計で、それ以外の各フロアの蛍光灯は、最小限の数で最大限の効果が得られるように綿密に計算しています。「今までの半分以下まで節約できました」と相談員のKさんは話します。平成20年度にはエコプロジェクトが発足しました。「水道の蛇口のコマの大きさを見直したり、二酸化炭素の量を測定できるエコワットでの電力チェックをしたりするほか、サンパテンスを植樹して各フロアで育てたりしています」とKさん。サンパテンスは、多くの二酸化炭素やホルムアルデヒドを

吸収する植物なのです。

「利用者の方に節電を学ぶことがあります」と話すのは、介護員のNさん。かんだ連雀の共同トイレは、トイレに入るときに電気が付き、トイレを出てしばらくすると消えるように、電気スイッチは「自動」です。「ある日、利用者の方が、“使ったら消さないとね”と、トイレの電気を“切”にされたのです。まだまだできることがあると、利用者の行動で教わりました」と話します。



「地球を大切に想い、行動することは、大切な人を守っていくことにつながります」と話すKさん。かんだ連雀は、今日も小さなエコの積み重ねに取り組んでいます。



### 法人の基本指針

私たち職員は、法人創設者中城イマ前理事長の4つの信念を基本的な指針とします。

- 1 利用者へ深い共感をもつ**
  - いたみを分かちあう共感
  - 相手の立場に立つ共感
- 2 地域の方々に感謝する**
  - 他者への感謝
  - 我以外みな我が師
  - 内部にあっては職員相互あるいはご利用者への「ありがとう」の気持ち
- 3 水、電気などの資源を大切に**
  - 自然を大切に
  - 環境を汚さない
  - 自然の恵み、資源を未来につなげる
- 4 常に防災を心がけ火を出さない**
  - 安心安全を常に心がける
  - 安全を脅かさない